令和6年度の全ての予算:945.3億円 企業会計 110.1億円 12% 一般会計 特別会計 544.5億円 290.7億円 57% 31% (単位:%) 20 40 60 80 100

一般会計とは…

市の基本的な仕事(福祉、教育など)を行う 予算です。主に市税で賄っています

特別会計とは…

国民健康保険など特定の事業を行うために、 一般会計と分けて設けられている独立した 予算です(全6会計)

企業会計とは…

自らの収益で運営している上下水道事業の ことです

うりを守り、魅力的な地域をつくらしを守り、魅力的な地域をつくる」「若い世代の結婚・出産・子くる」「若い世代の結婚・出産・子くる」「若い世代の結婚・出産・子くる」「若い世代の結婚・出産・子の希望をかなえる」「移住を促し、新しい人の流れをつと定住を促し、新しい人の流れをつくる」「おいては「古河市戦略子算編成においては「古河市戦略子算編成においては「古河市戦略子算編成においては「古河市戦略子の大きない。 するための予算となっています。ら、時代の変化に応じた課題に挑戦られた財源を有効に活用しなが めの経費に重点を置いて る G X 9 4 4 5 5 億円に 円。前年度と比ね一般会計当初予算 4.9 の増額 Xの加速」 となりに対象を ては

11, 令和6年度 古河市の予算

一般会計**544.**5億円

(前年度比 4.9%増)

歳出は扶助費が増加

扶助費は高齢化の進展や障がい 福祉サービス費の増加、また子育 てをしている人たちへの支援拡充 により年々増加しています。合併 直後に比べ、92.4億円増加(2.5倍) し過去最大の予算額となります。

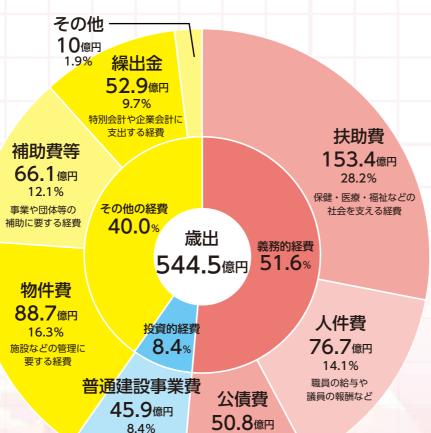
■扶助費の増加額

H18決算:61億円 R6当初:153.4億円 ◀

7+92.4億円

古河市が支払うお金の内訳





道路、学校などの

建設に要する経費

※端数処理により数値が一致しない場合があります。

古河市に入るお金の内訳



その他 市債 53.3億円 3**2.6**億 9.8% 6.0% 公共施設整備 特定の目的 でてる市の借金

地方交付税

73億円 13.4% 地方自治体の税収の 差を調整するために

国から配分されるお金

歳入 55.3% 544.5億円

自主財源 44.7

個人や法人が納める 市民税、土地や家屋 などに課税される 固定資産税など

繰入金

市税

209.2億円

38.4%

国・県支出金 142.3億円 26.1%

使い道が指定された 国や県からのお金

11.1億円 諸収入 その他 5.3億円

17.7億円 3.3%

市税 実質的には過去最大

市税は定額減税に伴い209.2億 円(前年度比2.3億円減)を見込み ますが、定額減税による減収分 (6.2億円)を含めると実質的には 過去最大となります。

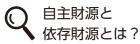
■市税

R6当初:209.2億円

-215.4億円 (過去最大)



0000000000



市が自ら徴収するお金 である自主財源に対し、 国から定められた目的の ために交付されるお金を 依存財源と言います。そ のため、自主財源の割合 が大きいほど、行政運営 がしやすくなります。

0000000000

義務的経費と ▶ 投資的経費とは?

扶助費や人件費など、 支出が義務付けられてい るため簡単に削減できな い経費を義務的経費と言 い、道路や学校などの建 設に要する経費を投資的 経費と言います。

9.3% 市債(借金)の償還